

神奈川県
議会議員
石川ひろのり

県議会レポート 2019 特別号



石川ひろのり事務所
〒215-0011 川崎市麻生区百合丘1-5-4 米山ビル202
TEL 044-455-6611 FAX 044-455-6614

<http://www.hiro-ishikawa.jp/> 石川ひろのり

県議会控室
〒231-8588 横浜市中区日本大通1 神奈川県庁新庁舎9階
TEL 045-210-7620 FAX 045-210-8911

住み続けたい街
麻生区のために

本当に神奈川は住みやすいのか
あなたの納めた税金を
「生まれて・育って・住んで良かった」
誇りある神奈川に。
今日より明日はきっといいことがある。
住み続けたい神奈川を目指して。

徹底的に
現場主義

約1兆8千億円の31年度一般会計予算案。 県税の使い方を考える。

神奈川県議会は2月13日から3月15日（31日間）まで、平成31年第1回定例会が開催されています。この定例会では平成31年度予算が審議されています。昨秋、約600億円の財源不足という厳しい状況と発表されましたが、税収を上方修正しても440億円の不足となり、最終的に30年度財源を繰り越すなどの対応でなんとか予算編成がなされています。

生活密着施策に重点

31年度は保育の無償化に約140億円、子育て支援に約487億円、支援を必要とする子ども・家庭への取組みに約808億円が計上されています。具体的には3～5歳児の認可保育所・幼稚園等は無償、認可外保育施設は月3万7千円まで無償となり、他、短時間勤務保育士の雇用支援、生活困窮世帯の子ども支援、認可外保育施設の指導強化などが挙げられます。この4年間、一般質問等で子育て環境の整備を提案し続けて参りました。今後もこれら取組みに一層尽力して参ります。

区 分	3～5歳	0～2歳
認可保育所・幼稚園等	無償	住民税非課税世帯は無償
認可外保育施設	月3万7千円まで無償	住民税非課税世帯は月4万2千円まで無償

自転車保険加入義務化

平成29年、麻生区でスマホ操作中の自転車と歩行者が衝突した死亡事故が起きました。自転車保険についても、かねてよりかながわ民進党（当時）では施行に向けた取り組みを行うよう質疑を重ねて参りました。加害者側に高額な賠償が求められることも踏まえ、県では今年10月より自転車保険加入義務化の条例を施行する予定です。

その他、信号機等の計画的な整備や道路標示の緊急補修、防犯カメラ等の導入に向けた取り組みを行っています。今後も神奈川に、麻生区に住んで良かったと実感できる街づくりを皆さんと一緒に進めていくために、県税の使い方を提案して参ります。皆さんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。

【介護・医療】

介護・医療・児童関係費は約3,817億円と前年比5.4%の増額となっています。団塊の世代が後期高齢者になる2025年を見据え、約1,005億円の予算を配し、高齢者自ら参加して、地域で包括的、継続的な支え合いを行う地域包括ケアシステムの深化・推進に向けて、介護施設等の整備や介護従事者の確保のための事業を実施するとともに、総合的な認知症施策を進め、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる体制を整備するとしています。

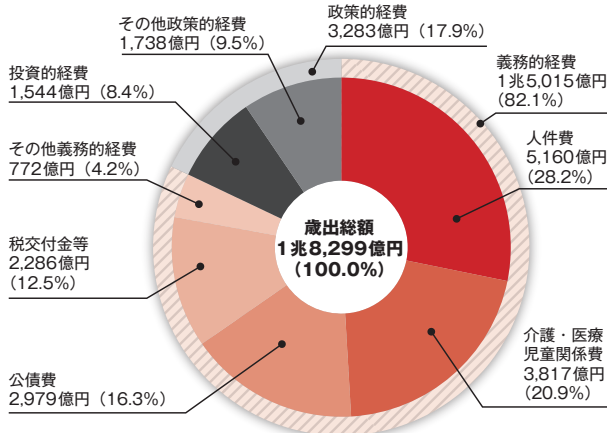
【安全で安心な街づくり】

約850億円の予算を配し、県民の生命、身体及び財産を守る「災害に強いかながわ」をつくり、地域防犯力の強化や、消費者被害などの未然防止と救済、県民と一体となった交通安全運動・対策等を実施することにより、犯罪や事故のない安全で安心なまちづくりを推進するとしています。具体的には道路、橋りょう、港湾等の整備による緊急輸送体制の確保等に約202億円、道路利用者の交通の安全と円滑な交通環境を確保するため、信号機など交通安全施設を計画的に整備・交通環境の構築推進に約37億円の予算が組まれています。

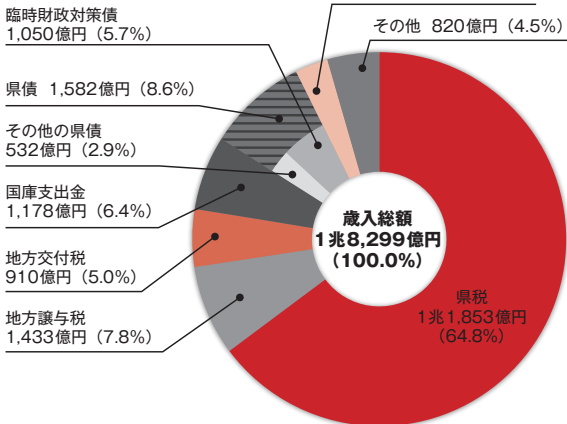
平成31年度一般会計当初予算案

（注1）円グラフ中の金額は、表示単位未満切り捨てのため合計と符号しないことがある。
（注2）円グラフ中の構成比は、小数点第2位を四捨五入しているため合計と符号しないことがある。

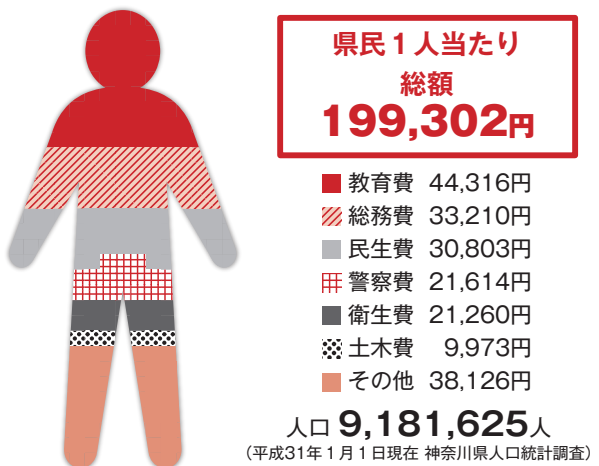
（歳出性質別予算）



（歳入款別予算）



平成31年度当初予算案の使途の状況



国・県・市が連携して地域の政策課題に取り組んでいます。



私の麻生区担当秘書を務めた、石川ひろのりさんは真面目でまっすぐ。民間企業約20年、秘書経験を8年間積み、「徹底的に現場主義」をモットーに県議会議員として4年間、県に対し地域の声を訴えてきました。これからも石川ひろのりさんと連携を取って課題に取り組んでいきます。

衆議院議員 **笠ひろふみ**



「地下鉄延伸の」公約を達成早期開業に向けて取り組みます
新百合ヶ丘～新横浜27分、新百合ヶ丘～関内46分接続
石川ひろのりさんと県政・市政の課題について緊密に連絡を取り合って解決に取り組んでいます。

川崎市議会議員 **あまがさ裕治**



女性や若い世代の方にとり政治は遠い存在に思われがちですが、特に市政はゴミや町づくり、教育等みなさんの身近な課題に大きく関わっています。専業主婦だった私がみなさんと同じ視点で改革に取り組み発信することが私の役割だと考えています。

川崎市議会議員 **こばりか子**

石川ひろのり

4年間の活動報告

地域活動「地域の声を政治の場へ」

地域要望

岡上駐在所前「歩行者用信号機の設置」、はるひ野駅付近「止まれ標識設置」、日吉ノ辻交差点「時差式信号に変更」「百合丘駅前信号機 渋滞対策」など、地域のさまざまなお困りごとやご要望を解消すべく、現地調査、解決に向けた話し合いなどを行ってきました。



地域行事

伝統行事である「流鏑馬」や「どんど焼き」、「あさお区民まつり」では実行委員会顧問として行事に参加させていただきました。その他多くの地域行事の中で、直接皆さまからたくさんのお声を伺うことができました。これからも安心・安全な街づくりの為、皆さまのお声を政治(議会)の場へ届けて参ります。



議会の報告を地域の皆さまへ

駅頭・街頭活動

地域の皆さまに、直接、議会の報告をする為に、この4年間麻生区内の各駅にて通勤・通学時間帯を中心に、県議会レポートをお配りしながら街頭活動を行って参りました。



県議会レポート

秘書時代、「地域の声が政治の場に届いていない」というお話を皆さまから伺ったからこそ、県議会で石川ひろのりが何を質疑し、知事や行政の回答はどうだったのかを皆さまにしっかりと伝えたいという想いで、4年間で通常版16号および特別号7号、合計23号の県議会レポートを作成して参りました。今後もこの想いを大切に、県議会レポートを発行して参ります。



バックナンバー

- 2015年Vol.2「生徒のための高校改革を」
- 2016年Vol.6「合格なのに不合格!?」高校入試採点ミス検証報告
- 2017年特別号5「県民のいのちを守り続ける課題」子育て環境整備・休日保育の取組
- 2019年特別号7「県税について考える」県外部監査も指摘! 環境系財団法人への20年間で63億円の補助金拠出など、全23号(通常版16号 特別号7号)を発行



タウンニュース

「地域の声」を伺い、議会で質疑を行い、その結果を駅頭・街頭活動、議会レポートなどを通じて報告をする。このことが議員としての責任であると考えます。そして、より多くの方に議会のご報告を知っていただくために、タウンニュースへ4年間で22回の寄稿を続けてきました。地域行事へ参加の際には、記事を読んでいただいた方よりご意見などを伺う機会も幾度となくありました。そして、そのご意見をまた政治の場に届ける。この繰り返しを続けることによって、地域の皆さまが「今、行政に行ってほしいこと」と「行政が進めたい事業」のすれ違いが減っていくのではないのでしょうか。だからこそ、これからも私の信条である徹底的に現場主義を貫きます。

バックナンバー

- 2015年 7月 Vol. 2「生徒のための高校改革を」
- 2016年 7月 Vol. 6「合格なのに不合格!?」高校入試採点ミス問題検証報告
- 2016年10月 Vol. 7「神奈川県でオリンピック!?」江の島の将来設計
- 2017年 9月 Vol.12「PM2.5発生源は身近なところに」
- 2018年 9月 Vol.18「もう他人事ではない防災対策。神奈川県は…」など、全22号を寄稿

議会活動



子育てを応援

「病児保育問題」「休日保育の取組みについて」「保育士確保」など、女性の社会進出、ひとり親家庭の増加に伴うさまざまな問題について質問。保育事業の充実が求められる今、働く親にとって子どもを安心して預け、育てられる環境づくりを強く要望してきました。

教育支援

「貧困の連鎖を断ち切るための若者の就労に向けての支援」「県立高校クリエイティブスクールへのスクールキャリアカウンセラー配置」等について質問。家庭環境の複雑化や経済的困窮家庭の若者に対して貧困の連鎖を断ち切り、就労や進学など将来に希望を抱けるように県が支援する体制をつくるよう要望してきました。

高齢者世代を支える

「買い物弱者対策」「民生委員の担い手確保について」等質問。高齢者の単身世帯化、公共交通の貧弱化、免許返上などの理由による日常生活の不便を解消すべく「買い物弱者対策」について各市町村との連携、支援を要望してきました。また、単身高齢者らを支える「民生委員」の人手不足解消に向けて、県には積極的に新たな担い手を増やす取り組みを要望してきました。

横浜市営地下鉄3号線延伸

2015年の初当選以来要望しつづけてきた「横浜市営地下鉄3号線のあざみ野駅から新百合ヶ丘駅までの延伸」が、2030年ごろの開業を目指す方針で固まりました。実現すれば沿線の活性化につながり、新駅周辺のまちづくりにも弾みがつきます。今後も早期実現に向けて尽力して参ります。



議会レポート、タウンニュースのバックナンバー・委員会質問など詳しくはHPまたはFacebookにてご覧いただけます。

石川ひろのり 検索



石川ひろのり プロフィール

1968年11月3日生まれ 横浜市出身。旅行会社、飲食業を約20年間経験。「行政とはサービス業である」との言葉に感銘を受け、37歳で衆議院議員岩國哲人事務所へ転職。その後、参議院議員公設秘書を経て、政策秘書資格を取得し参議院議員政策秘書を務める。衆議院議員 笠ひろふみ秘書を経て、2015年4月神奈川県議会議員に初当選。麻生区在住。引きこもり支援相談士。趣味：ジョギング(湘南国際マラソン大会5年連続出場中。自己ベスト記録 3 時間29 分28 秒) 家族：妻、子供一人 好きな言葉：「石の上にも3年」初めて社会人になる時に父親から言われ「どんなに苦しくても耐えること。そこで初めて全体が見える」という言葉を今でも忘れない。

私は約20年サラリーマンを経験し、その経験を政治の場に活かしたいと考え、秘書経験を8年積んだ上で2015年県議会議員に初当選させて頂きました。秘書経験の中で、多くの方とお話をさせて頂き共通する話は「皆さんの声が政治の場に届いていないという不信感」でした。私は、この想いを忘れず「徹底的に現場主義」を信条として、現地・現場で「見る」「聞く」「話す」ことにより、1期4年の議会活動の中で、県の取組みに対して提案を続けてきました。今後もこれらの経験を活かし、そしてマラソンの時のように粘り強く皆さんの声を政治の場に届けていきます。

ボランティアスタッフ募集

石川ひろのり事務所では随時ボランティアスタッフを募集しています。広告用チラシ折り、ポスター掲示、街頭演説のお手伝いなど短時間でもかまいません。皆様のご支援とご協力をお待ちしています。▶連絡先：TEL 044-455-6611

石川ひろのりの活動へのご支援(個人献金)のお願い 石川ひろのりの活動にご協力賜りたくご案内させていただきます。なお、寄付は税額控除の対象となりますので、ご相談ください。ようお願い申し上げます。▶石川裕憲後援会【郵便局】払込取扱票にて(口座番号 00200-7-52777)【銀行】三井住友銀行 新百合ヶ丘支店 普通 口座番号 6902358

石川ひろのりへの ご意見・ご質問をお待ちしております。 FAX 044-455-6614	ご意見など	お名前	TEL
		ご住所	